

## 大河原農業改良普及センターにおける学生を対象にした活動について

### 1 伊具高校、大河原産業高校との連携

#### (1) 伊具高校との連携

進路としての農業への理解を深めるため、普及センターが講師となり、地域農業や就農に関する講話を 9 月 1 日（金）に行った。

#### 【対象】

総合学科農学系列 3 年生 6 名（午前）  
" 2 年生 5 名（午後） 各 50 分

#### 【内容】

仙南地域の農業と世界と日本の食糧事情…30 分  
新規就農について…10 分

#### (2) 大河原産業高校との連携

地域の産業に関する理解を深め、生徒たちの社会意識を高める機会として「地域人材講演会」が 12 月 13 日（水）に開催され、農業や食糧に関すること及び起業や地域起こしについて、普及センターと仙南地区農村青少年クラブ連絡協議会（4 Hクラブ）から講話を行った。

#### 【対象】

1 学年生徒 225 名（農業科学科、企画デザイン科、総合ビジネス科）

#### 【内容】

・「日本と世界の食糧」「新規就農について」

講師：大河原農業改良普及センター職員

・「仙南地区農村青少年クラブ連絡協議会の紹介」

講師：4 Hクラブ役員（角田市内生産者、柴農平成 26 卒）

・「木華ができるまで ～きくらげ農家のお話～」

講師：東北きくらげ木華代表（4 Hクラブ員）

・「夢はキャンプ場併設のたのしい観光果樹園を運営すること」

講師：吉川果樹園代表（4 Hクラブ員）

また、合庁マルシェへの出展を提案し、生徒が自身の生産物を販売する機会を提供した。

※9 月 27 日（水）、12 月 22 日（金）実施



## 2 「キャリア教育プログラム」での取り組み

大河原地方振興事務所では、将来的な人口減少の緩和及び地域産業の人材・担い手確保に寄与するため、当圏域内の小中学校において各産業分野別に「キャリア教育プログラム」を実施し、幼少期から地域産業の魅力に触れ、地域事業者等の交流する機会を設けている。普及センターでは、この取り組みメニューとして下記を実施した。

### (1) 花苗寄せ植え体験

#### 【対象】

槻木中学校 18名（1～3学年 JRC 委員）

実施日：6月14日（水）

槻木小学校 11名（緑化委員会の児童）

実施日：7月6日（木）

#### 【内容】

生産者との交流や寄せ植えを通じて、育てる楽しさなど情操面での向上を図るとともに、地域で生産される花への興味関心を高めるため、管内の花苗生産者を講師に迎え、好きな花苗を選んで生徒が1人1個のプランターに寄せ植えを体験。



### (2) 腐葉土づくり実習

#### 【対象】

柴田小学校 46名（全校児童）

実施日：11月27日（月）

#### 【内容】

落ち葉を処分ではなく再利用することで自然の循環を体感し、SDGs の考え方について触れる機会を創出するため、普及センター職員が講師となり、児童と共に落ち葉を使った腐葉土作りを実施。

